

# 志、新たに

立志式では南中2年生が想いを胸に志を立てました



令和5年2月 第128号



# 南中生が町の未来を考える／ みらい南小国子ども会議

南小国中学3年生が町のことについて考え、意見をまとめ、町執行部や議員にプレゼンするみらい南小国子ども会議が12月14日に開催された。例年“子ども会議”として生徒から町執行部や議員への質問形式だったが、「子ども達の新鮮な考え方を取り入れることで、南小国の未来はより良くなる」「これからの社会をつくる子ども達に未来に向かってしっかり歩いて欲しい」との思いから今年度より名称と形式を変更し行われた。

今回は「A マート(JA)跡地の活用」について、4つの班がそれぞれに考えた案をまとめ、資料をスクリーンに映し出しプレゼンしてくれた。各班のプレゼンを要点を絞ってご紹介。

## 屋根付き公園を！

人口減少の対策として、より子育てしやすい環境充実が必要。

そのために屋根付きの公園を作り、小さな子どもが日差しや雨天関係なく、思い切って遊べる公園を整備してはどうか？



屋根に小国杉を使うことで南小国ならではの公園になる。ベンチも設置し、散歩等で来られたご年配の方や保護者・子どもとの交流もできる。

子育てしやすい環境を整えることで、居住満足度も上がり、移住者増加も見込める。



〈プレゼンター〉  
鞭馬さん・井野さん  
平野(青)さん・大塚さん

## e スポーツ会場を！

町内に子ども達と気軽に関われる場所が必要。誰でも立ち寄られるeスポーツ会場を作っては？



eスポーツとは、ゲーム機など電子機器を用いて行う娯楽・競技で、数人でできるものから全身を使うゲームまである。最近は認知症予防にも活用されており、eスポーツ人口は野球人口よりも多い。

広い世代での交流、高齢者の健康増進にも繋がる。町内温泉に入浴した方への割引制度を設けると観光客の滞在時間延長にもなる。



〈プレゼンター〉  
木村さん・梅田さん  
宮崎(心)さん・井さん



## 条件付きで土地売却！

人口減少を脱するべく、子育て世代の移住者確保を。移住者が住める場所の確保策として「移住者優先アパート」と「談話室」を建設することを条件に、土地の売却と住宅建設の補助金増額をしてはどうか。



アパートを町営にすると建設費も維持管理も負担が莫大になるので、民間に建ててもらえるように建設費の補助額増を。町内は共働き家庭が多いので、子ども達が学校帰りに勉強や読書ができる談話室は必須。談話室で交流ができれば和んだ暖かい町になる。



〈プレゼンター〉  
北里さん・毛利さん・  
宇都宮さん・河津さん・  
椎名さん・宮崎(真)さん

## 新しい保育園を！

南小国に住む方々が笑顔で過ごせる町にすべく、そのために保育と福祉を充実させることが不可欠。市原保育園と中原保育園を合併し、高齢者と子ども達が交流できる広いスペース付きの保育園新設を！



合併新設することにより、保育士不足・施設老朽化の解消、子育て支援センター併設、高齢者と子ども達との交流も叶う。

世代を超えた交流があることで、高齢者は健康増進、子ども達は思いやりの心を育むことが期待できる。



〈プレゼンター〉  
平野(新)さん・二子石  
さん・長谷部さん・  
佐藤さん

〈岩切教育長より〉



南中生は、1年生で**民泊農業体験**、2年生で**まちインターン**、3年生で**みらい南小国子ども会議**を経験する。自分達の意見をまとめ、探究的な学習として進めている。今回の4つのプレゼンはどれも該当する素晴らしい提案だった。町民の幸せのために、町の発展のために、今日もらった提案を参考にし、JA跡地の利活用に向けてしっかり考えていく。

3年生には将来の南小国の担い手として、まちづくりについて課題意識や興味を持って欲しい。これから受験もあるので、健康に留意して日々を過ごしてもらいたい。執行部も町議会もしっかり皆さんを応援する。

令和4年11月  
第3回臨時会

●専決処分の報告

◆一般会計補正(第5号)

主な審議

○価格高騰緊急支援給付金  
▼佐藤議員 非課税世帯の内訳は。

▽福祉課長 前回の分では世帯主65歳以上が395世帯、65歳未満が138世帯。この中に母子世帯・外国人・ひとり世帯等が含まれる。

●補正予算

◆一般会計補正(第6号)

主な審議

○町民向け商品券発行事業

主な補正予算 (万円)	
一般会計(第5号) 承認	
価格高騰緊急支援給付金	2665
工事請負費(町道改良工事)	△1700
公有財産購入費(町道改良用地代)	△250
工事請負費(応急災害復旧工事)	2000
一般会計(第6号) 原案可決	
町民向け商品券発行事業補助金	7961
測量設計委託料(市原小体育館)	560
一般会計(第7号) 原案可決	
部分林地元交付金	440

▼森永議員 再度発行のくらし応援券、2万円にした理由は。

▽町長 経済状況が非常に不安定で、先行きも不透明。冬場の燃料代・電気代等の経費増を考慮した。

▼森永議員 キャッシュレス化等、施策誘導につなげては。

▽町長 高齢者等へ配慮し、紙との併用を考えたから、関係団体と協議していきたい。

▼佐藤議員 過去のくらし応援券の検証結果は。また使用期限は。

▽町長 福祉的・家庭支援的な意味合いが大きく、特定業者の割合が高いという特徴がある。今年度JAが入ったことにより、多くの利用があった。他の事業者にも広がっていくような仕組みづくりは必要。

▽まちづくり課長 現在実施中のくらし応援券と同様に1月末までが使用期限。

▼佐藤議員 2、3月までの期間延長は考えられなかったのか。また500円券での発行は検討されたのか。

▽総務課長 国の地方創生

臨時交付金を充当するためには手続き上、使用期限を1月31日とする必要がある。

▽まちづくり課長 事業者と利用者共に賛否があった。使用期限もあり、なるべく早く届くよう1000円券のみの発行とした。ご提案は今後の参考とした。

○市原小学校体育館改修

▼井野議員 雨漏りが激しいと思うが、今後の改修スケジュールは。

▽教育委員会事務局長 今回の補正で測量設計委託料を計上。工事着工は令和5年度になる。危険を伴う工事は夏休みの長期休暇中に行うなど配慮したい。



改修(雨漏り対策) 予定の市原小体育館

令和4年11月  
第4回臨時会

●補正予算

◆一般会計補正(第7号)

主な審議

○斧隠牧野組合部分林地元交付金

▼穴井千秋議員 立米数等は。

▽総務課長 具体的な数字は出てない。間伐面積は4筆の1万2461㎡、全伐面積が3筆の12万1844㎡。見込収入が550万円。見込収入が8割の440万円を計上。

●条例改正

◆一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

原案可決

令和4年12月

第4回定例会

●補正予算

◆一般会計補正(第8号)

主な審議

○出産・子育て応援給付金  
▼森永議員 産科が阿蘇郡市内からなくなり、妊婦の経済的負担も増えている。子ども医療費無償化の対象を赤ちゃんまで広げ、妊婦健診の自己負担分を軽減で

きないか。

▽町民課長 国の具体的な方針が決まっていない。決まり次第、事業内容の組立てを行っていききたい。

▽町長 産科が近くになく非常に厳しい状況だと認識している。国の動向を見ながら協議したい。

▼井野議員 給付対象は。

▽町民課長 令和4年4月以降に出産された方が対象。30人分、300万円を今回予算計上。

○企業版ふるさと納税寄付金

▼佐藤議員 寄付金の内容は。今後の取組は。

▽総務課長 10万円ずつ、2業者からいただいた。地域再生計画でうたっている事業に使っていく。

肥後銀行とコンサルティンク契約を結んでいる。肥後銀行の大都市支店等を利用して企業の募集を行っている。

▽町長 企業版に関しては町の事業に対する共感とあったところが大きいのではないかと。コロナ禍で、外へ出向くことがなかなかできなかつた。企業との関係性といったものを色々と掘

主な補正予算 (万円)	
一般会計 (第8号)	原案可決
出産・子育て応援給付金	300
特別会計繰出金 (3会計)	576
道路維持工事	500
持井手頭首工改修補助金	300
町営住宅修繕料	250
現年度農業用施設災害復旧工事	390
過年度公共土木施設災害復旧工事	2450
過年度公共土木施設災害復旧工事 (町単)	250

り起こしていきたい。  
 ○自然休養村管理センター  
 ▼井上議員 将来的にどのようなと考えているのか、解体するのか。  
 ▼町長 解体の方向で考えている。  
 ▼井上議員 インターネットオフィスの再利用ができないか。  
 ▼総務課長 昨年、耐震診断の再調査を行い、亀裂等も大きくなっている。建築から43年が経過しており、改修しても、耐震性を有することは難しい。  
 ▼町長 耐震化には多額の費用がかかる。JA跡地の

○時間外勤務手当  
 ▼穴井千秋議員 教育委員会事務局費の百万円計上の理由は。  
 ▼教育委員会事務局長 人事異動等によるものやコロナの影響が多少落ち着いてきたこともあり、イベント等の開催が増えており、それに対応するため。  
 ▼井野議員 職員も増える時間外も増えている。一部の職員にしわ寄せ、負担が偏っているのではないか。  
 ▼教育委員会事務局長 学校教育係の方が来年度の学級編成作業等で多忙となっている。職員の病気療養、



解体の方向の管理センター

再開発を踏まえ、駐車場にすることが、利便性として良いのではと考える。

4月新規採用職員や9月異動職員と不慣れな部分がある。業務分担等を改めて見直し対応していきたい。  
 ▼井野議員 教育委員会事務局をはじめ他の課も遅くまで業務をされている。職員の過度の負担にならないように、体調面の考慮を課長にお願したい。  
 ○波居原体育館  
 ▼井野議員 光熱水費の上昇ということだが、トイレや入口の照明の消し忘れなどが見受けられるが。  
 ▼教育委員会事務局長 貸出しの際に注意喚起を行っていく。  
 ○会計年度任用職員の増員  
 ▼佐藤議員 この時期が増やす目的、仕事の内容は。  
 ▼福祉課長 来年度から新規に採用する社会福祉士を早く仕事に慣れてもらうため、1月から包括センターで採用したい。  
 ○鳥獣被害防止対策  
 ▼井上議員 猟銃の規制はわかるが、なぜ箱わなを自分の土地に自由にかかけられないのか。  
 ▼穴井則之議員 町猟友会長の立場として、狩猟法により現在主流となっている

○コンビニ収納  
 ▼佐藤議員 今回の手数料計上の理由と現在の状況は。  
 ▼税務課長 テスト用の費



免許が必要な箱わな

箱わな(上部に蓋のあるもの)は免許が必要となっている。蓋のないものは自分の敷地内であれば無免許でもかけられる。  
 ▼井上議員 鳥獣被害を食い止める方法として、自分の土地を守るためにもっと自由にできないのか。  
 ▼農林課長 法令に違反することを町が推奨することはできない。町としては免許の取得・箱わなの購入・電柵の設置等の補助を行っており、改めて周知していきたい。

用となる。期間は2、3月を予定しており、4月運用開始に向けて万全を期したい。  
 ◆国民健康保険特別会計補正(第2号)  
 他2特別会計補正  
 ●条例改正等  
 ◆職員の定年等に関する条例の改正他8議案  
 ●工事請負変更契約の締結  
 ◆町道瓜上矢田原線(社交金)道路改良工事  
 契約金額(増額)179万円  
 契約の相手方 (尙井上建設) 原案可決  
 ◆普通河川小田川⑨災害復旧工事  
 契約金額(増額) 22万円  
 契約の相手方 (尙合原技建) 原案可決

令和5年1月 第1回臨時会

●委員長報告  
 ◆野菜生産費高騰に対する追加補助に関する請願

採択

**Q** 学校給食の今後の取り組みは？

**A** 特色ある学校給食運営の維持に努める



佐藤 毅 議員

【議員】給食費の完全無償化への考えはないのか。  
 【町長】給食費の半額補助を実施中。ほかにも家庭の負担軽減策を行っている。今後協議していく。  
 【議員】栄養教諭を町で採用し、給食センターへの常勤職員を配置して、維持継続に取り組んではどうか。  
 【町長】教育委員会の担当職員との連携を密にして維持していく。  
 【教育長】担当職員だけでなく、教育委員会として、調理員さんや栄養教諭と連携協力して維持していく。

【町長】予算も伴うので、関係各所と協議していく。授業時間数等もあるが、検討していきたい。  
 【議員】これからも今以上に、町内産食材を学校給食で使用し、子どもたちの体験を通して、給食を学ぶ場に繋げ、特色ある学校給食を維持していただきたい。

**Q** 大観峰トンネル、実現に向けての動きは？

**A** 関係機関と協議を続けている

【議員】大観峰トンネルに関しては二度目の質問。期成会、協議会の設置に向けての動きはどのようになっているのか。  
 【町長】地域振興局土木部や県庁道路整備課との協議を行っている。212号改修期成会での協議も行う予定。日田阿蘇道路は本町にとって産業活性化や防災機能等において重要な道路。

協議を進める。  
 【議員】必要性を感じている小国郷内において協議会等の組織を立ち上げて、建設に向けての動きを始動する時期ではないか。  
 【町長】どういった形で進めていくのが一番いいのかも含め、関係機関と協議を続けながら、今後の方向性を見い出していく。



下城孔志郎 議員

**Q** ふるさと納税の用途は？

**A** 基金として積み立て、各事業に充当している

【議員】ここ数年、10億近い寄附金があるが、どのように使われているのか。  
 【町長】庁舎別館工事、小中学校タブレット購入、夢チャレンジ補助金、小中学校給食費補助など幅広く使っている。  
 【議員】福祉関係の用途がないように思えるが、何か特筆すべき用途があるか。  
 【総務課長】シルバー人材センター事業補助金、児童福祉施設費、保育園の保育材料費などに使用している。

【議員】今後、寄附額が減少していく可能性があるのではないか。  
 【町長】他の自治体を参考にしながら、金額だけを追いすぎるのではなく、南小国町らしいやり方、仕組みを作り上げていく。  
 【議員】用途については、ホームページ等で紹介してほしい。

令和2年度 ふるさと納税について  
 摘要

摘要	金額(円)
総収入	990,564,085
原価・発送等	358,326,851
ポータルサイトへの支払い	92,243,065
(株)S.M.O南小国経費	64,523,407
基金充当額	475,471,318
(基金総額)	477,142,318

使い道	金額
令和2年水稲被害見舞金	52,846,000
農業用施設災害応急措置事業補助金	5,000,000

令和3年度 ふるさと納税について  
 摘要

摘要	金額(円)
総収入	973,912,202
原価・発送等	342,901,048
ポータルサイトへの支払い	92,661,511
(株)S.M.O南小国経費	89,947,430
基金充当額	448,408,946
(基金総額)	620,056,264

使い道	金額
庁舎別館建設工事	137,380,882
きのこセンター修繕一式	15,385,414
民間賃貸住宅確保プロジェクト補助金	12,000,000
観光振興プレミアム商品券発行事業補助金	9,444,549
人材還流促進及びデータバンク構築・利活用業務委託料	7,000,000
農業担い手育成補助金	5,751,000

**Q** パートナーシップ制度の導入を！



森永 一美 議員

**A** 導入を考えたい

【議員】多様な生き方を尊重し、個々人がその人らしく生き、活躍できる社会の実現が求められている。LGBTQなど性的少数者のカップルに対して自治体が独自に「結婚に相当する関係」として認め証明する「パートナーシップ制度」を導入してはどうか。

【町長】今後導入を考えた

い。性の多様性に関する理解促進、行政サービスの見直しも必要となる。それらを踏まえ導入時期を決定する。

【町民課長】まずは次年度で講演会の開催を考えている。パートナーシップ制度のガイドラインを職員間で共有し理解を深めていく。

**Q** きよらカアサの賑わいを継続するための取り組みは！

**A** 今まで以上に利用促進に努める

【議員】きよらカアサは物産館としてのみならず、子ども達の給食と町内農産物を繋げたり、移動販売車で買い物サポートをしたりと、町民の暮らしを支えている。この場を将来に渡り存続するためにも、道の駅にするのも一つでは。

【町長】過去にも同様の検討をしたが、道の駅の登録要件を全てクリアするのは厳しい。関係者と連携し、今まで以上に利用してもらえよう努める。

【議員】カアサの土地賃借料は年間220万円。これからの賃借なのか、購入

なのか、今後の方向性は。

【農林課長】土地所有者は3名。現状、譲っていたらけるとの明確な答えはもらえていないが、引き続き交渉する。以前は10年の賃貸借契約だったが、令和4年度からは5年契約とした。

【議員】令和5年10月からインボイス制度が始まる。カアサの出荷者への対応は。

【農林課長】今のところ明確な対応は決まっていない。これからも出荷いたたけるよう、色んな方策をカアサと検討していく。

**Q** 草原・森林の拠点づくりを！



井上 則臣 議員

**A** 関係機関と協議を深めていく



押戸石から見た草原・原野の風景

【議員】豊かな草原・森林を守り、伝承するためには、集い学ぶ活動拠点づくりが必要だが、どの様に組み合わせるかを伺う。

【町長】先人たちが営みの中で残した伝統を、継承することは私たちの義務。阿蘇草原再生機構や阿蘇グリーンストック等と連携し草原の維持・再生に取り組んでいる。本町には、活動拠点としては不足しているかもしれないが、南小国町木材拠点施設（通称ファブラボ）がある。

【議員】刈払機・チェーンソー・野焼きボランティア等の講習会場やパークゴルフ場

【町長】草原・原野を活用したパークゴルフ場というものが必要と思う。講習会場等との総合的なものがないのが、中山間直接支払制度への影響など、色々な面から意見交換しながら議論を深めていきたい。

【まちづくり課長】マゼノ一帯は、重要な文化的景観地区になる。環境に配慮しつつ、森林・草原維持、再生に寄与すれば、考慮し検討する。

【町長】草原・原野を活用したパークゴルフ場というものが必要と思う。講習会場等との総合的なものがないのが、中山間直接支払制度への影響など、色々な面から意見交換しながら議論を深めていきたい。



南小国町木材拠点施設（ファブラボ）

**Q** 町道の維持管理、全て町負担で持続可能か？



井野 和哉 議員

**A** 今後認定路線の見直しも必要になってくると思う

【議員】台風14号の際に、竹や雑木が倒れ通行に支障のた路線が多々あった。日頃の管理が大事だと思うが。

【町長】基本的には、土地所有者に適切に管理をしてもらうのが第一であるが、通学路やバス路線、避難所への道路などは、自治会等の要望もあり、優先的に撤去作業を行っている。

【議員】町道として、292路線、総延長約318kmをかかえている。その中に

【建設課長】町道にも、1級・2級・その他の路線に分類されるが、重要性や利用状況に応じて、見直しが必要になってくると思う。執行部だけでなく、議会とも一緒になって進め方を考えていくべきではないかと思う。

**Q** 今後どう活用していく、生活体験施設？

**A** しばらくは現状のまま活用していく

【議員】生活体験施設として利用を始めて、3年が経過したが、思うような成果が上がっていない。町営住宅としての利用も考えては。

【町長】新型コロナウィルスの影響もあり、思うような宣伝もできていない。関係人口創出の面からも、今しばらくは現状のままでの運営を行っていく。

【議員】開始時期が新型コロナウィルスの拡散とも重

なり、大変な部分もあったと思うが、今後、利用価値を高めるための考えがあるのか。

【まちづくり課長】まずは、ホームページ等でのPRはもちろん、移住定住相談会などでの紹介や、多くの方々の目に留まるように、取り組んでいく。

【議員】せっかく故人から遺贈された施設であるので、積極的な活用を希望する。

**Q** 町の関係人口創出は？



穴井 則之 議員

**A** (株)SMO南小国と連携しながら、関係人口の創出に努める

【議員】関係人口の創出も一過性のもではなく深く関わりを持つ事が大事だと思う。その中で、地域おこし協力隊の力が役立つと思うが。

【町長】町としては、起業型地域おこし協力隊として、受け入れを行っており、町内での起業や事業承継等の推進に力を入れている。

【議員】子供たちの山村留学というのも、一つの方法ではないか。本人だけでは



現在活動中の起業型地域おこし協力隊の皆さん

なくて、周囲の家族など多くの人が関わる事ができるのでは。

【教育長】地域創生において、人口減少というのが一番の課題であり、他の地域からも子供たちを呼び込む姿勢は必要であると思う。他の自治体の情報を収集しながら、町長や教育委員の方々と相談していきたい。

◆地域おこし協力隊活動報告会

◎日時 令和5年2月21日(火)  
受付 午後1時～

◎場所 開会 午後1時30分～  
きよらホール  
(役場庁舎内)

◎内容

- ①協力隊制度の説明等
- ②活動報告
  - 富房こず枝 さん
  - シヨウオーナタリーさん
  - 寺世 風雅 さん
  - 長谷部湧也 さん
  - 園田 亮 さん
- ③交流・意見交換会

◎参加費 無料

◎申込み 当日参加受付  
事前申し込みは必要ありません

◎問い合わせ (株)SMO南小国  
☎080(8)5736474

時間 平日9時～17時  
休館日 土日祝

議員視察研修（宮崎方面）

研修報告 広報調査対策特別委員長 森永 一美

コロナ禍で延期を余儀なくされていた全議員視察を 11 月 16 日～ 17 日で行いました。

【16 日：宮崎県新富町】

本町が唯一、包括連携協定を結んでいるのが新富町です。令和 2 年の豪雨災害時には新富町役場職員さんを本町に派遣してくださっています。

視察した「総合交流センター」は、総工費 16 億 8216 万円、年間の維持管理費 3583 万円、防衛予算も充当されていました。図書館、資料館、カフェ、会議室、調理室、自治会が無料で使えるコピー室等が揃っており、町民の利用頻度も高いとても充実した施設でした。本町でも J A 跡地の利活用等、生かせるものがあると感じました。

また、新富町は温暖な気候を活かした野菜生産や、養鶏・畜産も盛んで、担い手農家の確保育成にも注力されています。「アグリカレッジ」という就農支援制度があり、就農者のレベルに合わせて【農大校】→【地域農家】→【トレーニングハウス】→【就農】とステップアップできる仕組みを作られています。平成 29 年からの新規就農者は 19 名に至るそうです。

【17 日：宮崎県日南市】

商店街活性化について「油津商店街」を視察しました。この商店街は全盛期 80 店舗あったものの 28 店舗まで減少。活性化を図ろうと、4 年契約のサポートマネージャーを全国公募し、333 名の応募から 1 名を採用。現地に住んで活動してもらったそうです。

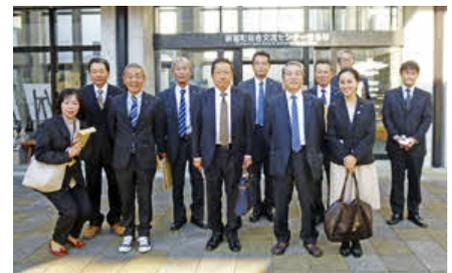
いくつかの商店復活の他、IT 企業 13 社の誘致、保育園や子育て支援センターの開園、広島カープとのタイアップ、学生による活性化プロジェクトの実施など、“商店”という枠組みを外した取り組みもされていました。

現在は空き店舗が少なくなり、進出企業間で人材の争奪になってることから企業誘致は中止。アーケードの老朽化など課題もあるようですが、それでも「昔の商店街に戻るのではなく、今必要とされている姿に変化し対応する」と今も新しいことに挑戦されているのが印象的でした。

この 2 日間で現地を見て学んだことは議員 10 名が本町に持ち帰っております。本町のまちづくりにしっかり活かして参ります。

令和 4 年・5 年 議会日誌

10月	29	小中学生プレゼンテーション大会
11月	1～2	阿蘇市町村議会議長会正副議長・事務局長視察研修会
	4	令和 4 年第 3 回臨時会
	9	第66回町村議会議長全国大会
	10	阿蘇郡町村議会議長会正副議長・事務局長研修会
	11	熊本県立小国高等学校創立百周年記念式典
	16～17	南小国町議会議員研修会（写真①）
	22	令和 4 年第 4 回臨時会
	22	全員協議会
12月	22	議会広報調査対策特別委員会
	24	熊本県町村議会広報研修会（写真②）
	6	議会運営委員会
	13～14	令和 4 年第 4 回定例会
	14	みらい南小国子ども会議
	15	議会広報調査対策特別委員会
	19	阿蘇広域議会運営委員会
	20	小国公立病院議会
1月	21	総合計画策定推進協議会
	23	県町村議会議長会第 4 回理事会
	26	阿蘇広域議会定例会
	26	デザインセンター第 5 回理事会
	3	二十歳を祝う会
	6	消防団出初式（写真③）
1月	10	経済建設常任委員会
	11	阿蘇市町村議会議長会総会、議長・事務局長合同会議
	12	立志式
	令和 5 年第 1 回臨時会	
	20	全員協議会



写真①



写真②



写真③

## 町議会、4年間を振り返って

## 議長 平野 昭夫

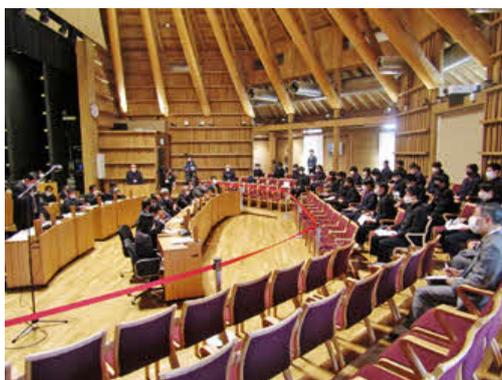
8年間の議長としての想いを振り返りたいと思います。

1期目、議長在任の2年目に将来の南小国町を担う子ども達と一緒に議場で「新鮮な考え、子ども達が議会をどのように思っているのか、また愛する南小国町をどのように捉えているのか、未来の子ども達にどのように伝統・文化・観光・農林業を伝えていくのか、真剣に勉強していくことが重要なことではないか」と始めた子ども会議を、今年から『みらい南小国子ども会議』と名称を変え開催することが出来ました。

今、国が一番悩んでいるのが少子化の問題です。全国の地方自治体では人口増につながる移住・定住に取り組んでいます。南小国町の人口を増やすためには外からの流入だけではなく、経済を柱として町独自の政治・政策を全国に先駆けて執行部・議会・その他の組織が結集して少子化問題に取り組むことが、南小国町の生き残り戦

術ではないでしょうか。

終わりに、森永議会広報調査対策特別委員長をはじめ委員の皆さまの議会広報紙に取り組む努力に心から感謝申し上げます、想いいたします。



子ども会議の様子 (R2年12月)

## 副議長 穴井 則之

4年前、3期目の議員活動が始まる事となりました。今回は南小国町議会で初めての女性議員が誕生しました。議会会期中に出席という喜ばしい出来事もありました。副町長の案件では否決という結果となり議場に重苦しい空気が

流れました。令和元年12月に中国武漢に始まった新型コロナウイルスは、瞬く間に国内で感染拡大する事となり、議会活動も私生活もコロナウイルスに翻弄され一変する事となりました。ウイズコロナとはいえ感染拡大はいつまで続くのでしょうか。

昨年はロシアによるウクライナへの侵攻が始まり、世界の経済を揺るがす事態となりました。この4年間はコロナウイルスや、ウクライナへの侵攻、統一教会の問題など国内外大変な4年間でした。

その様な中、南小国町議会としては議員の皆さんそれぞれが、個性を生かしながら発言・行動し、まとまった議会だったと思います。



南小国町議会議員



南小国町議会議場 (きよらホール)

## 議会運営委員長 井上 則臣

議会運営委員長として、この4年間、町議会の運営を任せられました事に、深く御礼を申し上げます。議会運営委員会を効率的かつ丁寧に進め、活発な議論を心掛け運営して参りましたが、至らない面もあり深く反省しています。

議会は町の大事な制度設計の場であり、公正かつ人道的で町の将来に整合しているかを緊張感をもって真剣に議論する場です。

これまで、ご支援・ご鞭撻をいただきました皆さまに深く感謝し御礼を申し上げます。ありがとうございました。

## 総務文教常任委員会の4年間

総務文教常任委員長 児玉 秀次郎

定例議会において、南小国町生活体験施設設置条例の制定について委員会で料金の一部修正を行い採択。その他、新規条例の制定など総務文教常任委員会に関する事案があり、いずれも全員協議会にて協議を行い議会で審議することとなり採択されました。

総務文教常任委員会の活動の中で、3年に一度民生委員の一斉改選があり、その都度民生委員推進委員会が開催されます。後任が決まるまで数回にわたり委員会が開かれ候補者の推薦・審議等が行われますが、令和元年は委員15人中11人が退任、令和4年は15人中10人が退任し後任の人選に苦慮しているのが現状であります。委員の処遇改善も必要かと考えます。

その他、地域福祉推進委員会、社会福祉協議会評議委員会、子ども・子育て会議等の各委員会が定期的に開催され事業計画に基づき協議が行われました。

令和元年11月の委員会研修においては、岡山県久米南町では移住・



神石高原町視察研修の様子

定住の取り組み、広島県神石高原町においては結婚・出産・町立病院の運営等について研修を行いました。各自治体においても過疎化が進む中、様々な取組・支援を行い新規定住者が増えているのとこのとでした。町として各種事業を参考に取組んでいく必要があると感じました。

新型コロナウイルス感染症により行動制限が2年以上続いている中、今後も活力ある町づくりのために活動して行かなければと考えます。

## 経済建設常任委員会の4年間

経済建設常任委員長 矢津田 道夫

経済建設常任委員会の4年間の活動報告として主なものを記したいと思います。

令和元年及び3年に町有林の視察を行いました。全体的に見て間伐が遅れている山林が多く見られ、森林環境税等を活用し整備をしていただきたいと思います。

令和元年11月には長野県南木曾町へ視察研修を行いました。南木曾町の農協跡地については、国指定の文化財となっているため、町全体で協議を行った結果、現在は観光協会の拠点として利用しているとの事でした。本町でもJA跡地について協議が行われており、今後どう利用されるのか見守っていきたいと思います。

令和2年には7月豪雨災害により瀬の本・白川・小田地区に大規模な水害が発生し、いまだ復旧が終わっていない所もあります。この時の被害を見ると流木が原因と思われる面もあり、今後治山・砂防の整備を県等に要望をしていく必要があると思いました。



R2年7月豪雨災害現場視察の様子

また令和4年には立岩水源からの飲料水使用停止が6日間続き、委員会で水源地視察を行いました。地区代表者から原因についての話を聞き、湧水量の減少が原因ではないかとの話もありましたが、今後同様の事がないよう町として適正な管理をお願いしたいと思います。

最後に、この4年間に新型コロナウイルス感染症流行やウクライナ戦争による燃料高騰など不安を感じる事が多くありました。一日も早く安心して暮らせる日々が戻って欲しいと願うばかりです。

# 4年間、ありがとうございました！

保育園や小中学校、お店、事業所、田んぼ、山、ご自宅、式典…町内各所に伺い取材させていただきました。「〇〇の記事が良かったよ」「次も楽しみにしとるよ」等と皆さまから頂戴するお声に支えられた4年間でした。取材にご協力いただきました皆さま、議会広報をお読みいただいた全ての皆さまに深く感謝いたします。



## 編集後記

現在の広報委員メンバーで作る議会広報もこれで最後となりました。

委員会結成当初、事務局含めメンバー全員が広報誌作成に携わった経験がなく、内3人は初当選の新人議員でした。強みは素人故の読者目線と、より良い物を作成しようという意欲が高いことでした。

議会広報が町民皆さまと議会とを「繋ぐ」役割となるよう、専門的で一方的な報告だけでなく、1つでも「手にして良かった」と感じてもらえることを掲載しようと、研修で学んだことや他所の広報誌の良いところを参考に毎号少しずつ改良を重ねてきました。委員会の度に議論があり、ぶつかることもアイデアも汗もたくさん出しました。発行を重ねるごとに改良したいポイントも取材したい方も特集したい内容も増えております。これらは夏の読者アンケートで頂戴したご意見とともに、次の広報委員の方にはしっかり引き継ぎたいと思います。

約4年間、議会広報をお目通しいただきましたことに委員会を代表して深く御礼申し上げますとともに、2023年が皆さまにとりまして輝かしい年となりますことを心より祈念しております。4年間本当にありがとうございました。

(委員長 森永一美)

発行責任者

議長 平野 昭夫

広報調査対策特別委員会

委員長 森永 一美

副委員長 井上 則臣

委員 井野 和哉

委員 佐藤 毅